

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作り、入社時に必ず理念を理解してもらうよう、オリエンテーションの中で説明をしている。基本理念については、和室・玄関・トイレ等に掲出し、意識付けを行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	例年は、地域の公民館長や地域の方々と連携して、地域行事・運営推進会議への参加・地域周辺への挨拶まわり・ボランティア等の受入を行っています。コロナ禍により、地域敬老会・地域行事の参加等、控えております。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	例年、地域の方々や入居者、ご家族、職員の交流を深めるために運営推進会議、食事会を開催しているが、本年度はコロナ禍により、運営推進会議の開催自体を控えております。そのため、ご家族につきましては、グループホームだよりにて情報発信をしております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍により、運営推進会議の開催は3月より控えております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	入居者様の生活支援状況についての報告・相談等は、必要に応じて電話により、対応しております。報告・相談等の連絡に努めて業務品質向上を目指しています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除宣言を掲げ、勉強会等で議題として取り上げて意識向上を図っている（職員トイレに掲示）。また、身体拘束委員会においては、身体拘束についての理解を深める周知等を行っている。そして、玄関・非常口の施錠について、日中帯は行っていない。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止について、職員ミーティングで、法律を含めた勉強会を行い、施設内における虐待を根絶するように意識統一を図っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度等についてはミーティング等で勉強会を実施（日常生活自立支援、成年後見人制度）して理解を深めている。対応が必要な時には、管理者指示のもと、関係各所との連絡を密にして、適確な対応ができるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ホーム見学や入居相談時、また契約締結前に、契約書・重要事項等を十分に説明して入居を検討して頂き、懇切、丁寧な説明を行った上で同意を得ている。解約・改定の際には、事前に書面郵送・電話を行い、ご理解を頂けるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様にご本人の思いを代弁して頂けるように、電話による要望等の聞き取りを行い、要望等があった場合には早急に改善策を検討している。また、苦情相談窓口・第三者委員の名簿をご家族あてに郵送しており、掲載して外部への相談先をご案内している。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月開催の職員ミーティングの中で、職員それぞれの業務内容やケア方法等の意見交換・情報共有を行い、業務サービスにおける品質向上を図っている。また、欠席者等に対しては、会議録・申し送りノートを活用して情報共有を実施している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の勤務環境における聞き取りを行い、能力に合わせた勤務指定、介護・子育て世代に合わせた勤務体系を組んで、職場環境改善に取り組んでいる。また、突発時の勤務変更も柔軟に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>入職時におけるオリエンテーション記録報告書の作成、行事・全体会議等の報告書の作成を依頼して、業務内容に精通するように指導している。また、マニュアル等を活用して、経験の浅い職員でも業務に対応できるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>例年、グループホーム協会や地区の勉強会に参加しているが、コロナ禍により他介護施設への訪問等も自粛している。他施設等の情報収集については、書面・インターネットによる情報を取得して、サービス品質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人が入居するまでに介護支援専門員やご家族からの情報を得、考え方に対しての聞き取りを行い、ご本人が希望する生活を送れるような助言を行い、ご本人が安心して生活できる関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人の入居後の生活についての説明、グループホームの理念、重要事項等を説明し、ご家族の要望等の情報収集を行う。また、ご家族との良好な関係を維持するために、随時ご本人の生活状況を連絡して、良好な関係性が築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者に対しては、医療・各専門職・ご家族等から必要な情報収集を行っておき、支援内容を明確化しスタッフへ伝えている。緊急時には適切な対処を行えるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	年間行事（お正月、ちまき作り、焼き芋、野菜の栽培等）は、入居者の方々と職員が、飾り付けや作り方を教え合いながら行っている。また、入居者様の個性や能力に合わせた役割分担を行い、出来ることをお願いし、意欲をもって生活が送れるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍による面会制限のため、近況等は電話にて状況報告を行っている。入居者様のご希望があれば、ご家族への電話による対話、手紙作成の補助を行い、ご家族との関係が疎遠にならないように支援を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍により関係継続が厳しい状況にあるが、ご本人と関係が深い方々には、電話やホーム便りを郵送して近況、状況の案内をするとともに、電話や手紙を頂けるように支援をしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ユニット間で入居者同士が自由に行き来したり、レクリエーション・各種行事も合同で行っていたが、「コロナ禍で入居者同士の触れ合いの機会を少なくなっている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も定期的な訪問活動を行い、ご本人やご家族とも良好な関係を継続できるようにしていたが、コロナ禍で入院などがあると面会もできなくなっている。ご家族とは電話や来園時話をしている。コロナ禍で自由に往来が出来なくなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の方々の趣味・趣向を把握して、興味を持たれる話を引き出し、その聞き取り内容を職員間でも情報共有しながら、ホーム生活で希望や意欲を持って生活できるよう支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人・ご家族・主治医・担当ケアマネジャー等の聞き取り（ご本人の希望に沿った生活についての情報収集）を行い、その情報をもとに、入居者の行動や言動に対する理解を深め、職員間における情報共有を図っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者の方々の生活について、その方に合った日課・役割・運動などの声かけをしている。またカンファレンスで、できること・できなくなったことや精神面についても観察しながら、その方に適するケアに努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族からの要望内容の聞き取りを実施して、職員の意見交換を行い、また必要時にはカンファレンスを実施して、その方向性や情報共有を図ってモニタリング・介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者の一日の様子や出来事、状態等については、個別の生活記録簿を作成して確実な記録を行っている。また、介助に必要な情報は、職員間で共有して支援経過の記入や介護計画の見直しに活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別のリハビリ支援や年間行事・誕生会の参加や、ご家族が県外在住の方に対しては、必要品の買い物代行、他科受診の支援など、ご家族の状況に合わせた支援を実施している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生員や公民館・地域の方々の支援を得ながら、地域行事への参加活動を行っていたがコロナ禍で交流が少なくなっている。また、まちづくり協議会への加入もしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	木村外科内科と医療連携の契約を行っており、医師の訪問診療や状態変化時の相談・助言を受けている。また、必要時には他科受診やご本人・ご家族の要望に合わせて主治医との連携を図り、適切な医療支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	健康管理について介護職員は、主治医、医療連携看護師に状況報告や医療面についての相談、対応方法や専門的な指導を受けており、支援に活かしている。随時医療機関との連携を保っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院中の状態把握のために、ご本人・ご家族との面談（希望、要望等の聴取）や主治医（面談に同行）や看護師、他の専門家の意見を仰ぎながら、退院後の生活準備を職員とともにし、その後の医療や他専門家のサポートを受けられる体制を整えている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ホームにおける重度化や終末期の対応については契約時に説明し、入居前・入居時・入居後（状態変化等）における対応の説明や方針を、ご本人やご家族の意思を確認して、要望や希望に合わせて実施している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時における対応は、マニュアルに沿って対処しており、医療機関と連携体制も確立しています。スタッフ会議の時に緊急時の対応についての勉強会を実施し周知徹底を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	事業所で年2回消防署の協力を得て、避難訓練（昼・夜想定）や他事業所と連携して避難経路の確認・消火器の使用 方法・火災報知器・通報装置の使用 方法の指導がある。また、非常災害マ ニュアルを作成して、いつでも職員が 閲覧できるようにしている。非常災害		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の人格を尊重し、誇りやプライバシーに配慮した声かけや対応に努めている。また、倫理規定や権利擁護についても全体ミーティング等で定期的に研修を行い実施している。記録なども個人情報に十分配慮して取扱いと管理を行なっている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの特性や個性に合わせ笑顔や気持ちが引き出せるよう配慮し、レクリエーション等、本人がやりたいことを聞いて行っている。また意思疎通が困難な方には仕草や表情から気持ちを汲み取るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居前に自宅での暮らしやご本人・ご家族からの聞き取りを行い、生活習慣を把握して、ご本人のペースで生活できるように支援を実施している。入居後はご本人・ご家族ともに連携して、生活の質の向上に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	髪をとかしたり、服を選んだり出来る所は自分でして頂き仕上げやできない部分はお手伝いする。外出・行事・誕生日は、本人やご家族の準備した衣類を着用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養指導時に管理栄養士と相談して、季節に合わせたメニューの打ち合わせを行い、ご本人の食べる能力や状態に合わせた食事形態(キザミ食・ミキサー食)に対応して、楽しい食事の時間を過ごせるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量・食事は毎日記録に残し、起床後・10時・15時・食事・入浴後・ご本人が希望される時、また健康状態に合わせて水分摂取を促している。栄養バランスの保持については、主治医・管理栄養士の指導により健康状態を維持できるように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声かけを行ってされる方・一部介助の方・全介助の方がおり、個々の口腔状態や嚥下状態に合わせて、各人が清潔な口腔状態を維持できるように対応している。また随時、義歯の消毒をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表から、個々の排泄パターンを知り、その方にあった時間で声掛けをしている。トイレ利用ができる方への対応は、羞恥心に配慮しながら、トイレ誘導・排泄確認・後始末等、身体状態を確認しながら気持ち良く利用できるように支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の際、食物繊維を含む食材の提供やバランスの良い献立がして頂ける様、管理栄養士と話し合いを行っている。また、医療機関との連携を整えて、便秘傾向の方は内服調整で排便のコントロールを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴前にバイタルチェック、水分補給を必ず行い、体調や本人の意向を確かめた上で一人ひとりのペースで気持ち良く入浴ができるように、また、プライバシーも考慮して個別に入浴対応を実施している。汚染等により体が汚れた場合には、直ぐに入浴できるように対応している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の睡眠パターンを把握し日中の活動を適宜に行い、安眠出来るように支援している。また就寝時間についても、ご本人のペースに合わせて就寝を促し、就寝中は巡視を行って安心して休めるように配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別に薬ファイルがあり、職員が内容をいつでも閲覧できるようにしており、主治医・看護師・薬剤師からの服薬助言も頂いている。服薬時にご本人の飲み込みまで確認し飲み忘れないようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人やご家族からその方の生活習慣・趣味等を聞き取り、現在のご本人の状態からできること、好きなことは何かを見出し、楽しみながら自分らしく過ごしていただけるよう支援していく。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ホーム行事や法人行事、他科受診、外出・外泊など、ご本人の意向、ご家族の協力しながら外出する機会を設けている。コロナ渦で感染予防の為、外出は少なくなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在お金を所持している方はいないが、ご本人が希望する物品などがあればご家族に物品を依頼し必要物品の購入支援を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>誰でも電話が使える状況にあり、ご家族とのコミュニケーションをとる支援をしている。また手紙を書く方に対しては、文面作成の遂行等の支援も行っている。また身体・認知機能の状態などで電話や手紙のやり取りが出来ない入居者様のご家族にはホーム便りなどで元気な姿を写真に収めて郵送している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールは比較的広めに造られており、長テーブルにゆったりと座り、ソファもあるので、ソファに座ったりして自由に過ごしてもらっている。ご家族からのお花の提供やホーム前の花壇も季節の花を定期的に植え替えて、季節感の演出にも配慮している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者様同士の関係性に配慮し、テーブルや椅子の配置を工夫して共有空間における一人ひとりの居場所は確保できている。状況に応じて声かけを行い、より良い関係を築けるよう支援し入居者様同士思い思いに過ごして頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅と変わりなく過ごせるよう使用していた物を置いたり、ご家族の写真や個人の作品などを置いて、自宅との違和感を感じさせないように配慮している。また、より良い環境を作るために、ご本人やご家族の要望に合わせて職員間で話し合いの場を設けている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホーム内は全てバリアフリーで、車椅子も自由に自走できる広さで、自力歩行の方も手すりを利用している。居室やトイレの場所はプレートを作成して見やすくして、自分のペースで過ごせるように声かけを行い支援をしている。歩行不安定な方は動線を作り転倒予防に努めている。自由に居室とホールを行き来している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1	ほぼ全ての利用者の
		2	利用者の2/3くらいの
		3	利用者の1/3くらいの
		4	ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1	毎日ある
		2	数日に1回程度ある
		3	たまにある
		4	ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない